

解 答 速 報

関西医科大学(後期) 英語

2024年3月2日実施

マーク解答

I	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	b	a	b	b	a	a	b	b	a	b
	11	12	13	14	15					
	a	b	a	a	b					
II	16	17	18	19	20	21	22			
	c	g	e	d	e	b	e			
	23	24	25	26	27	28	29			
	b	a	b	a	a	b	d			

記述解答

II

30	over	31	long
32	because their societal and clinical impact are not as immediate		
33	the missing piece of the puzzle	34	laugh

III

This graph shows annual global average surface temperature from 1880 to 2018. At the beginning of the 20th century, it was more than 0.5°F below the 20th century average. However, it had been rising steadily, and as of 2018, it was over 1.5°F above the average.

This global warming has been caused by industrial development and accompanied increase of greenhouse gas emissions such as CO₂. Its effects include several threats to our way of life, including rising sea levels and destruction of ecosystems. To stop global warming, the whole world's commitment to a decarbonized society, such as reducing emissions of the gases, is essential for the future. (107 words)

<解説>

I 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

1 [内容一致・不一致] 「1」から「15」に関して、本文に従うと、文が正しいか、間違っているか。正しければ“a”を、間違っていれば“b”を自分の解答用紙にマークせよ

1 「音楽は人間の文化の重要な一部になっているにも関わらず、音楽がこの世に生まれたのは比較的最近のことである」

答えは b. 第1段落第1, 2文に「音楽は古来より存在し、それは誰もが知る文化の一部である」とあることから、音楽が比較的最近生まれたわけではないということがわかるため、この設問内容は誤りであると判断できる。

2 「ニナ・クラウス博士によると、脳が音や環境を理解しやすくするという点で音楽ほど効果的な音はない」

答えは a. 第5段落最終文が根拠となる。その1文の意味は「音楽はこの点（脳内の音声処理を鍛えれば鍛えるほど、音や周りの世界について理解することがよりできるようになる）で他のどんな音にも勝る」である。

3 「音楽を含むすべての音は音波という形で耳に入り、鼓膜によって電気信号が私たちの理解できる何かに変換される」

答えは b. 第6段落第2文に反する。その1文の意味は「これ（音波として耳に入った音楽やその他音声）が鼓膜に振動を生み出し、その振動が内耳で電気信号に変換される」である。鼓膜はあくまで振動を伝えるものであり、電気信号を変換するものではない。設問にある「電気信号」の「何か」への変換を行っているのは、同段落最終文で述べられる聴覚皮質である。

4 「音楽が脳を活性化させると、それは明るい光へと変換され、脳の視覚野を刺激する」

答えは b. 第7段落第3文に反する。その1文の意味は「音楽が脳を刺激すると、それは明るい光の明滅として脳画像に現れる」である。音楽そのものが明るい光に変換されるのではない。また同段落最終文では、音楽が刺激するのは「感情、記憶、身体運動に関する脳領域」と述べられており、視覚野という記述はないことから、この設問内容は誤りであると判断できる。

5 「パーキンソン病とは、患者が徐々に運動能力を失っていく病気のことである」

答えは a. 第8段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「この病気（パーキンソン病）をもつ患者は歩いたり動いたりする能力をゆっくりと時間と共に失う」である。本文中の“ability to move and walk”が設問中の“mobility”に対応している。

6 「音楽が、パーキンソン病以外の脳の病気を抱える患者に役立つという証拠がある」

答えは a. 第10段落が根拠となる。その意味は「音楽は、アルツハイマー病、認知症、外傷性脳損傷、脳卒中、失語症、自閉症、難聴といった他の症状を抱える患者にも役に立つという証拠がある」であり、設問文はこれをほぼそのまま言い換えているだけである。

7 「楽器を演奏することには脳の多くの部位が同時に関係しているという事実は、高齢者が集中力や行動や言語獲得を改善するのに特に役立つ」

答えは b. 第11段落第1, 2文に「楽器を演奏することは脳の多くの部位を同時に活動させる。これは特に、脳がまだ発達途上にある子どもや十代の若者に有益である」とあり、高齢者にとって役立つとは書かれていないことから、この設問内容は誤りであると判断できる。

- 8 「音楽は、子どもの学習能力を改善するには確かに効果的だが、それには限界がある。だから、高校生が音楽のトレーニングを始めて大きな恩恵を得ようとしても手遅れだ」
 答えは b. 第 12 段落第 2 文に「クラウドの研究では、たとえ高校生になってからトレーニングを始めても、音楽には子どもの学習能力にとってよい効果がある」とあるので、この設問内容は誤りであると判断できる。
- 9 「ニナ・クラウド博士の研究チームによって行われた実験では、十代の若者が 2 年にわたって定期的に音楽活動に参加した後、脳に変化が見られた」
 答えは a. 第 13 段落第 1 文が根拠となる。その 1 文の意味は「『私たちの研究によると、十代の若者が 2 年間学校での音楽活動に続けて参加した後、脳に生物学的変化を示した』と彼女は説明した」である。
- 10 「ニナ・クラウド博士によれば、音楽から脳が受ける恩恵は、楽器を演奏し続ける限り続くが、音楽活動をやめればその恩恵はなくなるという」
 答えは b. 第 14 段落第 1 文の内容に反する。その 1 文の意味は「『いったん音に効果的に反応する方法を脳に教えると、音楽のレッスンは終わっても、それはずっと続くのです』とクラウドは説明する」である。以上から、この設問内容は誤りであると判断できる。
- 11 「音楽活動は、高齢になったときの聴覚障害の予防に役立つ可能性がある」
 答えは a. 第 15 段落が根拠となる。それらの意味は「音楽的であることは、加齢による難聴を防ぐことにもなる。私たちは時間の経過とともに聴力を自然に失っていく。特に、騒がしい環境での会話は聞き取りにくくなる。しかし、研究者たちは、音楽家は騒がしい場にあっても人の声を聞き取るのに長けていることを明らかにしている」である。
- 12 「音楽療法士になりたい人々は、様々な病気に対する従来の治療法の代替として音楽を使う様々な方法について、指導や訓練を受ける」
 12 「音楽療法士になりたい人々は、様々な病気に対する従来の治療法の代替として音楽を使う様々な方法について、指導や訓練を受ける」
 答えは b. 第 16 段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「音楽療法士は、様々な健康状態の人々の精神的・社会的・身体的欲求を満たすための音楽の使い方の訓練を受けている」であり、設問にあるように“replace conventional treatments”「従来の治療に取って代わる」わけではないので、この設問内容は誤りであると判断できる
- 13 「正常に話す能力を失ってしまった脳卒中の既往歴のある患者は、メロディーにのせて言葉を声に出せるようになるかもしれない」
 答えは a. 第 18 段落最終文が根拠となる。その 1 文の意味は「脳卒中歴のある人は言葉を歌うことができるが、言葉を話すことはできないだろう」である。
- 14 「音楽療法は認知症のような脳障害だけでなく、患者が自分の状況に対処する助けになることで悪性腫瘍のような病気にとっても有用である」
 答えは a. 第 10 段落と第 20 段落の最終文が根拠となる。第 10 段落のおよその意味は、「認知症などを含む様々な健康状態の人にとって音楽は有用であるという証拠もまた存在する」である。第 20 段落の最終文の意味は、「ある研究では、高リスク癌の治療を受けている若い人々が自分にとって最も重要だったことについて歌詞を書いたりミュージックビデオを作るのに音楽療法士が役立っていた」である。この二文より、この設問内容は正しい。
- 15 「音楽はどんな状況にいたとしても、全ての人にとって常に恩恵をもたらす」
 答えは b. 第 22 段落第 1 文が根拠となる。その 1 文の意味は「音楽は健康に多くの恩恵をもたらすが、全ての人にとって役に立つわけではない」である。以上から、この設問内容は誤りであると判断できる。

II 次の文章を読み、それに続く問いに答えよ。

16 17 [文中語句整序] 「〔★〕内の語を適切な順に並び替えて正しい英文を作り、16と17に入る単語をそれぞれ選び、自分の解答用紙にマークせよ」

“(Laughter’s ability to break the) ice and pave the way to social (bonding is easy enough to grasp).”

<break the ice> は「糸口を見つける、突破口を開く」という意味。<pave the way to ~> は「~への道を開く」という意味。仮にこれを知らなかったとしても、pave は「~を舗装する」という意味の動詞であるので、“pave the way” という形を想定し、and が“break the ice” と “pave the way” をつないでいると考える。また“social bonding” は「社会的結びつき」という意味。残った to は way の後に置くと、“the way to ~” 「~へと至る道」となり、「笑いによって突破口を見つけ社会的結びつきへと至る道を開くことができることは理解しやすい」という意味の英文が完成する。

18~21 [同意語選択] 「18から21に関して、下線部 (A) から (D) の単語を文意を変えずに置き換えるのに最も適した単語を選び、自分の解答用紙にマークせよ」

18 答えは e。下線部 (A) を含む文の意味は「心理学と神経科学の研究において、笑いは不安や恐れといった、精神衛生に影響を与える後ろ向きな感情を研究する、差し迫った医学的必要性によって、笑いは影が薄かった」である。pressing は「差し迫った、緊急の」という意味。他の選択肢はそれぞれ a「起こりうる、偶然的」、b「持続する」、c「押しつける」、d「押し込む、絞る」であり e の urgent 「差し迫った、緊急の」が答えだとわかる。

19 答えは d。下線部 (B) を含む文の意味は「リアルタイムでの2つの脳の相互作用の変動の仕方や笑いの影響を、大人と子どもの両方に関して研究者たちが調査したのは初めてのことだ」である。impact は「衝撃、影響」という意味。他の選択肢はそれぞれ a「情動」、b「衝突」、c「接触」、e「移動」であり d の effect 「影響、効果」が答えだとわかる。

20 答えは e。下線部 (C) を含む文の意味は「それはただ『幸福』と呼ばれてきた。しかし、異なるタイプの前向きな感情が違ったふうに働くのかどうか知るために、より広い視野に立っている」である。perspective は「視野、見方、観点」という意味。他の選択肢はそれぞれ a「教育役、指導者」、b「親」、c「きょうだい」、d「教師」であり、e の viewpoint 「観点、立場」が答えだとわかる。

21 答えは b。下線部 (D) を含む文の意味は「一方、ザウターとプレッティは、笑いには伝染力があり、本来備わっている恩恵があることに疑念を抱いていない」である。contagious は「(接触)伝染性の」という意味。他の選択肢はそれぞれ a「汚染した」、c「抑えられない」、d「自然に起こる」、e「透明な」であり、b の infectious 「伝染性の」が答えだとわかる。

22~24 [空所補充] 「22から24に関して、空所【 A 】から【 C 】を埋めるのに最も適した単語を選び、自分の解答用紙にマークせよ」

22 答えは e。空所【 A 】を含む文の意味は「将来の研究ではまた、同期性に関してこの最高の結果をもたらす点を拡張するために何が出来るかが問われるかもしれない」である。sweet には「快い、最高の」という意味があり、“sweet spot” で「最高の結果をもたらす点、一番良いところ」という意味になる。他の選択肢はそれぞれ a「苦い」、b「塩辛い」、c「酸っぱい」、d「香料を入れた」である。

23 答えは b。空所【 B 】を含む文の意味は「前向きな感情プロジェクト、つまり PEP は、感謝、畏敬の念、楽しみ、同情、安堵といった、詳細にわたる組織的な研究が行われていない17の感情に焦点

を当ててきた」である。空所に該当するのは前向きな感情である。compassion は「同情、思いやり」という意味。他の選択肢はそれぞれ a「敵意」、c「嫉妬」、d「悪意」、e「後悔、自責の念」である。

24 答えは a. 空所【 C 】を含む文の意味は「プレッティは、自分のプロジェクトでのもう一つ別の驚きに言及することによって、この点を明確にした。つまり、被験者が笑いを生み出す可能性を制限することを意図した研究の筋書きがうまくいかなかった」である。<drive a point home> は「問題を痛感させる、要点を明確にする」というイディオムである。本問では、by referring 以下の語句が point に続いているため、語順が変化している。他の選択肢はそれぞれ b「引いた」、c「走った」、d「乗った」、e「歩いた」である。

25~28 [空所補充] 25 から 28 に関して、“positive” か “negative” のどちらかを選び【 1 】~【 4 】の空所に適する語を入れ、自分の解答用紙にマークせよ

25 答えは b. negative。空所の次に “emotions that affect mental health such as anxiety and fear” とあることからマイナス、つまり negative な感情であるとわかる。

26 答えは a. Positive。 “【 2 】 emotions, like laughter, ~” とあり、emotions の具体例がプラスの意味を表す laughter であることから Positive を選ぶ。

27 答えは a. positive。第 8 段落第 1 文で「笑いのような前向きな感情はあまり研究されていない」とあり、その理由が「社会的・臨床的影響がさほど差し迫ったものではない」からと記述されている。しかし、第 2 文で「人々の幸福を増進したいのであれば【 3 】を増やさなければならない」とあり、研究量を増やさなければならないのは前向きな感情だとわかるので、positive を選ぶ。

28 答えは b. negative。【 4 】の直前に reduce とあり、減少させるべきものが何かを考えれば、空所に negative を入れるべきことがわかる。

29 [内容一致] 「本文中の Positive Emotions Project に関して正しい選択肢を次の中から 1 つ選び、自分の解答用紙にマークせよ」

答えは d.

- a. 「ディサ・ザウター博士は、このプロジェクトの主任研究者であるが、脳が子ども時代にどのように発育するかを専門とする心理学者である」

第 25 段落第 2 文に「3 万人以上の人々思考や感情を分析した」とあるが、選択肢にあるように「子どもの頃」に限定しているわけではないので、この選択肢は間違いであると判断できる。

- b. 「この研究の主な目的はどの種類の前向きな感情が幸福と関連し、どのタイプの前向きな感情が幸福と関連していないかを特定することである」

第 26 段落の第 1 文に「このプロジェクトの包括的な目標は、前向きな感情をより詳細に研究することである」とあるので、この選択肢は間違いであると判断できる。

- c. 「この研究の中心事項は、暗い気持ちになったときに人々が使う話し言葉に関してである」

第 27 段落に「このプロジェクトでは、顔の表情や、人がいつどのように前向きな感情を示すかを取り巻く社会規範を研究するだけでなく、それを声に出すことも重要な一部としている」とあるが、「声に出す」行為に注目しているのは、「音声」に注目しているからであって、「話し言葉」について研究したいからではない。よってこの選択肢は間違いであると判断できる。

- d. 「この研究の結果がいつの日か、自分の感情の状態をうまく伝えることができない人々に応用されるかもしれない」

第 30 段落で「この結果は自閉症や認知症を患っている人々を含む感情を伝えるのに困難を覚えている人々に役立つこともありうるだろう」とあり、この選択肢は正しいと判断できる。

- e. 「このプロジェクトの目的は幸福のレベルによってさまざまな文化をランク分けする世界地図を作製することである」

このプロジェクトの目的は地図を作ることではないので、この選択肢は間違いであると判断できる。

30 [該当語記述] 「2 つの空所【 X 】を同じ英単語で埋めて、それを解答用紙に記せ」

答えは“over”。2 番目の空所は第 16 段落第 1 文の後半部分で、動詞 laugh の後ろにあり、“laugh【 X 】 a silly word game” という動詞句の一部である。この部分からはすぐに答えを確定することが難しいため、最初の【 X 】を確認する。すると、それが含まれるのは、第 1 段落第 1 文の従属節である while 節である。この部分の構造を考えると、主語が空所を含む一節“people the world【 X 】”であり、動詞が enjoy で目的語が a good laugh となっている。空所に over を入れると、<the world over> で「世界中の」の意味になり、people を修飾する語句ができ、文意も通る。その上で 2 番目の【 X 】に over を入れると、<laugh over ~>で「～をみて面白い」の意味になり、これも成立する。over が正解として確定できる。

31 [該当語記述] 「2 つの空所【 Y 】を同じ英単語で埋めて、それを解答用紙に記せ」

答えは“long”。後半の空所を見て、ある程度解答の候補を絞り込むとよいだろう。後半の空所は、第 29 段落第 1 文冒頭に出てくる。“In the【 Y 】run,~”とあるので、<in the long run> 「長期的には、長い目で見ると」、あるいは<in the short run> 「短期的には、さしあたり」のどちらかになると予想される。そこで最初の【 Y 】を確認する。これは第 18 段落第 1 文で出てくるが、その文のおよその意味は、「そのとおり。一緒に笑うことは神経活動の同期性を促進するが、予想外の難点は次のとおりである。すなわちそれは～ないということだ」となる。さらに同段落第 2 文を見ると、「研究者たちは、人々がお互いの脳のリズムに意識を合わせ、その後には効果が失われるような 5 分間の好機を見つけている」とある。“a five-minute window” 「5 分間の好機」とあるので、脳の活動の同期性がそれほど長く続かないということ、最初の空所を含む一節で表そうとしていることが考えられる。よって、long が正解となる。

32 [語句抜粋] 「キャロライナ・プレッティ博士が、前向きな感情が後ろ向きな感情ほどは包括的に研究されてこなかった理由として挙げているものは何か。その語句を見つけ、自分の解答用紙に記せ」

答えは“because their societal and clinical impact are not as immediate”。第 8 段落第 1 文に Dr. Carolina Pletti の名前が出てくる。この文の意味は、「笑いのような前向きな感情がそれほど研究されていないのは、それらの社会に対する、また臨床上の影響が後ろ向きな感情ほど直接的ではないからである」となる。ここから、この箇所の前半が本問の問題文にある「前向きな感情が後ろ向きな感情ほど研究されていない」ことに対応し、その理由はこの箇所の because 以下を抜き出すとよいとわかる。

33 [語句抜粋] 「シュテファニー・ヘールが、笑いの研究を言い表すために用いている成句は何か。その成句は、笑いとは、欠けているのだが人間の脳同士の相互作用がどのように起こるかの洞察を得るために必要な要素であるということの意味している。6 単語の語句を探し、その語句を自分の解答用紙に記せ」

答えは“the missing piece of the puzzle”。問題文にある、抜き出すべき成句の意味に注目すると、「笑い

とは～」という書き方になっていることから、第4段落から出てくる Dr. Stefanie Höhl の発言の中でも、とりわけ笑いに関して述べられている部分をまず探してみよう。そうすると、第15段落第1文に、“~laughter might be really conducive to bringing people’s brains onto the same wavelength” 「笑いとは人々の脳を同じ波長にもっていくのに寄与する働きがあるかもしれない」とあり、続く第2文では laughter をそのまま it で受けて、“It’s really a social signal and, in research terms, it’s the missing piece of the puzzle, ~” 「それ（＝笑い）は、実際に社会的な合図であり、研究用語では、それは『パズルの欠けているピース』である」とある。この部分は、笑いは「欠けているが」脳同士の同期を促す働きがある「必要な要素」であることを言おうとしていると読み取れる。これは問題文が成句の意味として表しているものとほとんど合致していると考えられ、解答もこの部分を探してみるとよい。正解と考えられそうな成句は、“the missing piece of the puzzle” 「パズルの欠けているピース」であり、これを答えとするとよい。

34 [該当語記述] 「空所【 a 】を、文脈を考えて、最も適した語で埋めてそれを解答用紙に記せ」

答えは、“laugh”。第34段落に、Pletti のプロジェクトにおける予想外の発見が書かれていることにまず注目してみよう。そこでは「被験者が笑いを生み出す可能性を制限することを意図した研究の筋書きがうまくいかなかった」とあり、それを受けて、最終段落第1文で「取扱説明書の作成に取り組むといったとてもつまらない仕事を人は与えられると、その状況の不快感を下げるために面白いことを思いつこうとし、結局いずれにせよ【 a 】と書かれている。前段落からの文脈を考えると、笑いが起こらないように仕組んでも「結局笑ってしまう」という内容が予想されることができるといえるため、正解は laugh とするとよい。

III 以下のトピックについてエッセイを書け。

35 [自由英作文] 以下のグラフをよく見て、2つの部分に分けてエッセイを書け。

① グラフに示された客観的事実の要約。

② これらの事実に対するあなたの解釈。これには潜在的な問題点、採りうる解決策、また個人的な意見などが含まれる。

解答用紙に100語程度の英語でエッセイを書け。

その合計語数を下欄に記入せよ。

【解答例1】

This graph shows annual global average surface temperature from 1880 to 2018. At the beginning of the 20th century, it was more than 0.5°F below the 20th century average. However, it had been rising steadily, and as of 2018, it was over 1.5°F above the average.

This global warming has been caused by industrial development and accompanied increase of greenhouse gas emissions such as CO₂. Its effects include several threats to our way of life, including rising sea levels and destruction of ecosystems. To stop global warming, the whole world’s commitment to a decarbonized society, such as reducing emissions of the gases, is essential for the future.

【解答例2】

This bar chart shows the annual temperature difference from the 20th century average from 1880 to 2018. From 1880 to 1940, annual global average surface temperatures for land and ocean were below average, with the largest difference around 1910, and after 1940, temperatures hovered around + or - 0.5°F until the late 1970s. After 1980, the temperature difference increased almost steadily, peaking in 2016.

This bar chart clearly shows the recent situation of global warming and forces us to face the problem and take practical measures to stop this warming trend. In my opinion, countries around the world must work together to make unified efforts to further reduce greenhouse gas emissions. (111 words)

【解答例 3】

According to the graph, annual global average surface temperature for land and ocean has been rising since 1940 and especially rapidly rising since late 1970s. Temperature difference in 2016 is 1.7°F above 20th average.

This temperature rise may have been caused by global warming. Governments, United Nations, and other international institutions should take various measures to stop this. For example, companies and factories which use fossil fuels excessively have to pay carbon tax. We need to reduce carbon dioxide and promote renewable energy sources like wind power and solar power. (90 words)

【表現】

<p>1. 図表に関する表現 「この棒グラフは～を表す」 • this bar chart shows ~ • in this graph, ~ • according to the graph, ~</p> <p>2. 比較に関する表現 「～は 20 世紀の平均を華氏 0.5° 以上下回る」 • ~ be more than 0.5°F below (the) 20th (century) average</p> <p>「～は 20 世紀の平均を華氏 1.5° 以上上回る」 • ~ be over 1.5°F above (the) 20th (century) average</p> <p>3. 増減に関する表現 「～は±0.5° F 前後で推移する」 • ~ hover around - or + 0.5°F • ~ fluctuate between - 0.5°F and + 0.5°F</p> <p>「～は着実に上昇する」 • ~ rise steadily • ~ show a constant increase</p> <p>「～は急上昇する」 • ~ increase rapidly • ~ show a sharp increase</p> <p>「～は…に最高になる」 • ~ peak in ... • ~ spike in ... • ~ reach one's highest (peak) in ...</p>	<p>3. 年齢・年代に関する表現 「1880 年から 2018 年まで」 • from 1880 to 2018</p> <p>「気温が～から上昇し続けた」 • temperature has [had] been rising since ~ • temperature increased after ~</p> <p>「～まで…し続ける」 • ... until ~</p> <p>「20 世紀初頭」 • at the beginning of the 20th century</p> <p>「1970 年代後半」 • late 1970s • late 1970's</p> <p>「2018 年の時点で」 • as of 2018 • by 2018</p> <p>5. その他の表現 「地球温暖化」 • global warming</p> <p>「温室効果ガスの排出」 • greenhouse gas emissions • emissions of green house gas</p> <p>「化石燃料」 • fossil fuels</p> <p>「二酸化炭素」 • CO₂ • carbon dioxide</p>	<p>「私たちの生活への脅威」 • threats to our way of life</p> <p>「海面上昇」 • rising sea levels • sea level rise</p> <p>「生態系の破壊」 • destruction of ecosystems</p> <p>「全世界的取り組み」 • the whole world's commitment • the world work together to make unified effort(s)</p> <p>「～の…な対策を講じる」 • take ... measures to do</p> <p>「脱炭素社会」 • a decarbonized society</p> <p>「再生可能エネルギー」 • renewable energy sources</p> <p>「私の意見としては、～」 • In my opinion, ~ • Personally, I believe that ~</p> <p>「私の観点からすると、～」 • From my point of view, ~</p>
--	---	--

講評

- I [長文] (やや易) 「音楽が人間に及ぼす身体的・精神的効果」に関する英文。分量は前期とほぼ変わらず。文章内容も理解しやすく、正解の根拠も見つけやすい。
- II [長文] (標準) 「笑いと前向きな感情が人体にもたらす効果」に関する英文。文章内容、語彙レベルは標準的ながら、設問数が多く、要領よく解き進める必要がある。
- III [自由英作文] (標準) 「陸上と海洋の年間平均気温」について与えられたグラフをもとに、読み取れる客観的事実とそれについての解釈を 100 語程度で記述する問題。事実を正確に表現することと、自分なりの意見などを的確に英語でまとめられるかが問われている。

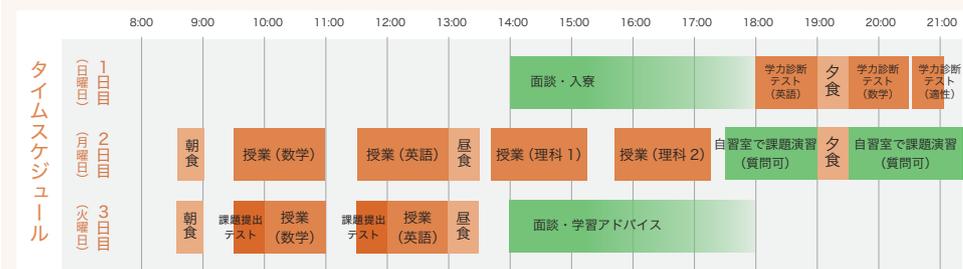
大問構成は昨年度と大きく変化はないが、マーク数が増加し記述量が減っている。昨年度後期と同様、大問3の自由英作文は長文内容と連動するものではない。グラフに関する英語表現への慣れが出来を大きく左右する。目標は70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校</p> <h1 style="font-size: 2em;">メビオ</h1> <p>☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/</p>	<p>医学部専門予備校</p>  <p>heart of medicine YMS</p> <p>医学部専門予備校</p> <p>英進館メビオ 福岡校</p> <p>☎0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	<p>☎03-3370-0410</p> <p>https://yms.ne.jp/</p> <p>☎0120-192-215</p> <p>https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	---	---	---

2泊3日無料体験

寮・授業・食堂の体験



無料体験期間

- ① 2/11 (日) ~ 2/13 (火)
- ② 2/18 (日) ~ 2/20 (火)
- ③ 2/25 (日) ~ 2/27 (火)
- ④ 3/ 3 (日) ~ 3/ 5 (火)
- ⑤ 3/10 (日) ~ 3/12 (火)
- ⑥ 3/17 (日) ~ 3/19 (火)

お申込はお電話
HP・QRコード
より承ります



詳しくはWebまたはお電話で